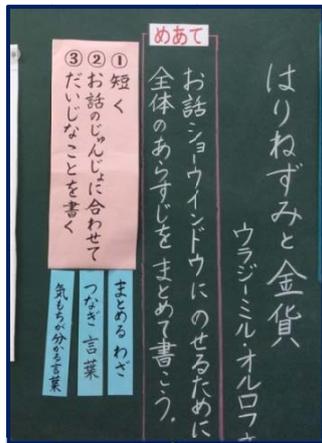


主体的な学びの充実につながる手立ての工夫

学校訪問や学校支援を通して、児童生徒の主体的な学びにつながる手立てが工夫されている授業を多く見ることが出来ました。どの教科の授業にも参考になると思います。その一部を紹介します。



【児童と共に見通しを立てる】(国語)

児童の発言をもとに①～③の観点を引き出し提示しています。この観点が自分であらすじをまとめたり、全体で話し合ったりする際の手立てになります。



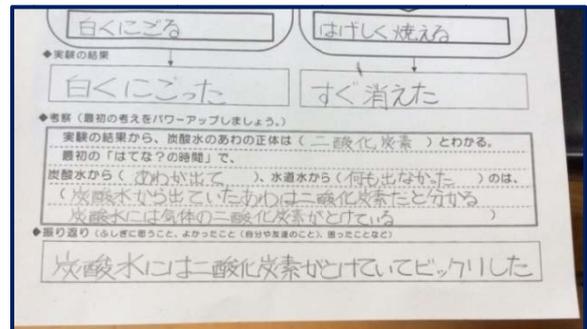
【ICTを活用して考え合う】(音楽)

タブレットを使い、演奏の様子を録画し、繰り返し再生することで、自分の演奏を振り返り、次の練習に生かすことができます。



【操作活動しながら考え合う】(家庭)

朝食の献立を考える学習です。カードによる操作活動をする中で、グループの考えを整理したりまとめたりすることができます。



【キーワードを使って自分でまとめる】(理科)

ワークシートを工夫し、キーワードに着目させることで、考察やまとめ、振り返りを自分でまとめることができます。

声の広場 第3号の発行に際して、いただいたメッセージの一部を紹介します。(要約引用しています)

《ICT利活用》について

- 電子黒板等のICTは、問題提示やめあてをつかませる際にとっても有効的だと思います。
- 理科の授業で使っています。教科書の拡大提示や注目点提示に便利です。

※《家庭学習の取組や工夫》について声をお寄せください。